

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	平成30年3月20日
タイトル	早くも満開！桜祭りに行ってきました
水土里レポーター名	茨城土連 総務経理課 主事 隠岐 龍也

平成30年3月17日（土）～21日（水・祝）の5日間、午前9時から午後3時まで、茨城県守谷市野木崎地先大野川沿いにおいて桜祭りが開催されました。式典が18日（日）に行われるということであったため、急遽18日に行ってきました。

当日会場に行ってみると、川沿いいっぱいピンク色が広がっていました。それは大野地区田園環境保全活動組織によって「多面的機能支払交付金」による取り組みの一環として植えられた「桜」でした。

大野地区田園環境保全活動組織（EPOP）は、普段、水路の掘削や草刈り、倒木処理、魚調査、施設点検などの多面的な活動をしています。また、大野小学校の「米づくり体験学習」に協力し、種を植えるところから、代掻き、稲刈り、おだかけまでの一連の作業を小学生に体験してもらっています。その後、小学生は米づくりについて体験学習したことを報告し、最終的に自分たちで作ったお米を食べるのです。

そんな活動を行っている彼らが、農地のもつ多面的機能や自然環境の素晴らしさをPRするために開催したイベントがこの「さくら回廊花祭り」なのです（協賛は守谷市大野土地改良区）。今回は第2回ということで、今年も開催できて良かったと関係者たちが喜んでいました。その日の式典では、多くの市関係者や県農林事務所等の出席がある中、地元の人たちのブラスバンドの演奏により会場が盛り上がりました。また、その後も地元女性団体の豚汁と甘酒の提供や、地元の方の焼きそばや唐揚げ等の販売もあり、会場には人が賑わい続けていました。

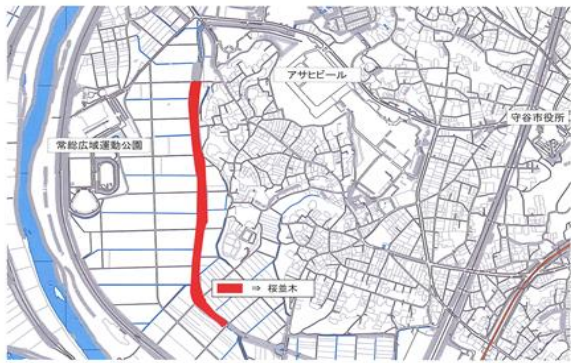


今年の桜の開花予想は茨城県水戸市で3月26日前後となっており、4月5日頃に満開とのことでしたが、驚くことに大野川沿いにはすでに満開近い桜が見事に咲いていました。どうしてこんなに早いのかと関係者にお話を伺ってみると、品種が違うのだそうです。一般的な開花予想の対象となるのはソメイヨシノですが、この大野川沿いに植えられたものは「はるめき」と言われる品種だそうです。はるめきは散形状花序で枝いっぱい花を付ける美しい桜で、強い香りがあるのが特徴です。花期は3月中旬と言われており、神奈川県南足柄市にあった無名実生種から枝変わりした品種とされています。この大野川沿いのはるめきも、神奈川県南足柄市からもってきたものだという話でした。



来場された方々にお話を聞くと、想像以上に綺麗でよかった、来年以降も開催し続けてもつとこの地域を盛り上げて行ってほしい、など様々な声が聞かれました。そんな中、地域の人でも2、3日前に知るような広報の仕方じゃ人はこれ以上集まらないよ、という辛口な声もいただきました。こういった意見ほど真摯に受け止め、今後に活かして行ってほしいと思います。

水土里レポーターとして、このような活動を行う団体の活動を支えていくべきだと考え、今後も積極的に情報提供をしていきたいです。



桜まつり開催！！

桜祭りWEEK！

名称：さくら回廊花祭り

平成30年3月17日（土）

桜の種類：はるめき

～21日（水）



チラシをご持参の方
に豚汁・甘酒無料

問い合わせ先
桜祭り実行委員会窓口
0297-48-0056（大野地区田圃環境組織）
（守谷市大野土地改良区内）

会場案内図

○モコバス利用の場合、常総公園入口、大野橋下車
○車の場合、常総公園入り口を100m先を左折すると桜が見えます。



<主催>
大野地区田圃環境保全活動組織 代表 椎名 照雄
<協賛>
守谷市大野土地改良区 理事長 高橋 善一郎

